

は広域行政とも申し入れをしておりまして、努力を重ねて
みるわけを言っています。しかしながら最初の取り決めで言っている
すのていかんが、その際今に改定をしないわけを言っています。
都あるいは地方事務所の運動が、良かというか、という言明で言
さいますが、二年共に西多摩事務所にお願いしたいとして、三所の
間に入ろう、この適正化について、なんとか努力をしよう、ただけな
らうか、という申出を、その時々に、わけを言っています。か
に、しか、一度利村に参りまして、良か、都でも、こういう規約では、われ
の力です、どうにもならない、という、ことを言っています。が、東京都地方
課長にも、お願いしたいわけを言っていますが、やはり、そのよう、な、答
で、あくまでも、町当事者の間で話し合え、ということ、を言っています。
従いまして、現在の組織をもちましてはいかんと、な、が、いい、とい
うことで、言っています。で、なんと、カン、が、打、南、東、を、と思、う、あり、ま、し

に、や、さ、さ、に、五日市町を含む南部二町二村の処理場の問題、並
びに青梅市内の公園開発地区内に、本年度中に建設すると
いう申し入れ等が、言っています。良か、ので、この機会を、と、う、お、も、し、て
なんと、か、判断を、いい、たい、と思、う、あり、ま、す。しかし、こ、れ
も、単独で、福生町か、と、う、こ、う、と、い、う、こ、と、も、不、可、能、と、存、じ、
ます。やはり、一部事務組合がある限り、最終段階は、一部
事務組合に、あ、ら、う、決、す、ま、う、と、思、い、ま、す。しかし、な、か、ら、
う、の、方、便、に、あ、ら、う、し、て、は、当、議、会、に、あ、ら、う、し、て、福生町の
態度、と、い、う、も、の、を、あ、ら、う、決、め、い、たい、と、思、い、ま、す。
近、い、う、ち、に、こ、の、点、に、あ、ら、う、し、て、考、え、を、い、たい、と、存、じ、て、あ
ら、う、わけ、を、あ、ら、う、し、ま、す。今、月、に、あ、ら、う、し、て、か、ら、青、梅、市、よ、り、と、う、し、て
も、今、月、中、に、着、工、し、たい、か、も、し、三、町、で、あ、ら、う、し、て、は、青、梅、と、一、語、に、あ
ら、う、い、か、と、い、う、話、し、を、口、頭、で、申、し、て、あ、ら、う、し、た、に、たい、と、理、事、者

といひまして、瑞穂並に羽村の理事者と話し合ひ申してござい
ます。いふれいにしてしましてもとうとうかに決定すべき時期と考
えてあります。業者は注意を払ふかという事話してござい
す。水坑の汲取りにつきまして緑化園で汲めたいことにな
てあります。業者も各々自分の立場をもちあり私の方は積極的
に羽村には使ふはいけないうことを申してはあります。なん
とも申しあげてあります。牧場の指示によつてこうなつたこと
はございせんのでその点ご了承願ひたいと思ひます。以上ご
々申しあげた次第でございす。

一助役(森田幸造君) 出席を許しをいひたうとしてご返答申しあげた
いと存じます。

緑化園からお雇ひする最終の肥料の心とてございす。か入体一日
当り二トン前後か生産高ではないかと思ひます。日産にして

五十トン多くて六十トン位ではないかと存じてあります。従い
まして年間を通じまして多い時でも六百トン位でござい
まして、結果から申しあげますと、従来三菱商事を通じて
平田を出してありますものでございす。か、いふ所、北海道
あるいは静岡方面にも参考にいひまして、値上げの交渉をい
はしたわけでもございす。か、従来平田でありますものを日物
との直取引に改めまして、平田を加え現在八平田という値段
で取引をいひしてあります。従いまして、年間にもたつた
て、おおよそ六十平田位の収益増となつたものと考えてある次第
でございす。又その繰入額といひまして、垂炭を加えてみれば
のでもございす。か、案内のとおり生産品の製造過程になつ
てあるいは製品にいつても無異のものを生産するところの、この取
りの取り決めにあるようにございす。か、おふんをいひたし

あして晩見につくは工事関係者と話し合ひをして、いろいろの方
法を試み、その中でよいものも良い成果を上げてまいら
せん。かなり我慢の必要な位の晩見がなされるであらうものも
あります。それらを入れるというところは福生町だけの考え方
では非常に困難でもあります。又それをコンスタントに入れ
るということも大変でございしますので、その段階にはいつ
てまいれません。しかしその購入物の重炭は昭和四十年年度から
バルブ相等に代るのではありません。バルブ相の方が重炭より
も安く手に入ります。臭いの点にいたしても重炭を使用
するよりいくらかやさしいように思われますので従つてバルブ相
もいくぶんなりともますこととなりまして、又反面製造過程
の処理費の減ともなりまして、有価物ではあります。この点
からかなり利益をもたせようとしてみると考えようである。でござい

して現在の積貨物であります。日物では年内に全部積貨物を
なくすということにございます。いやくも製品を二つの商品とし
て処分いたします。場合によっては、年内に少なくとも製品を十日から十五日
間、格納する製品倉庫というものが、必要であらうかと存じまして、事
務的には再三再四検討してあります。さらに敷地の一部をお貸し
願ふれば、格納庫を日物に造らせまして、そこに一時格納させても
らい、いいところを再三申し入れて、いようのでもございまして、なんと
しても管理者である羽村町から承けていただくわけですね。関係で
大和議員さんが最近、調べになつた時にも、相当の積貨がある、かと
思われます。それ以外には、なすも同じような状態が繰返
えされて、あります。その点製品を少しでも有利に処分をし
なすめば、なすの立場となる。福生町といふにしては是非議
会側の協力によりまして、少なくとも十日から十五日間、格納す

る管理の倉庫を設けさせていなければ、製品の処理については有利になるかと存じております。

なな北海道の旭川を視察いたしました際、痛切に感じましたこと
でございす。旭川に於ける肥料の生産については北海道の経
済連が全面的に援助をいたして、倉庫渡しで一万三千円で
売買されていようでございす。私どもの八千円に比べて、平
月も有利に取引を取らるわけですが、倉庫渡しでなされてお
るわけにございす。旭川に於ける肥料の生産量が年間八百
トンと聞て、旭川は北海道の持産であるアスパラガスの肥料として
大変良いといふことでございまして、アスパラガスの業者はどうしても
これを使わなければ損だといふことを申してあるようでございす。
従いまして私どもの場合によろは北海道へ直送しなうかという
ことも考えてみたのでございす。従来貨物の取扱駅でござい

ました稲根工場では貨物を取扱わないことになりまして、その他
近い駅を利用するようになりますと、押島駅というところになります。か

そのための倉庫建設費であるとか、輸送費というものを考えに入
れると、ある千円高く売れは、というところで私ども我慢をし
てある次第でございす。なな静岡方面にありまして、それと
同じような性質をもちました有機質肥料をメロン等高級果実
の生産に使われてゐるのでございす。しかし臭いが強いために、業
者はほとんどこれを使用する意思はないようであります。しか
らこの臭いを除くための段階の方法は、どういふものがあるかとい
うことを検討を加えたのでございす。かもし評されるものならば
この近くにもう一つの化成肥料を生産する工場を設け、濃縮肥料
の段階でそこへ直送しまして、濃縮するもので、~~材料~~工程をここであり
乾燥して粉末にするまで、別に行う方法を取らば、相当有利

に処分されてくるのではなからうかと考えてあるわけですが、
と申すすのは濃縮するまでの段階まではそれほどの費用は
かからないようにしています。大体肥料の価格を形成しているも
のの中、五千円近いものが濃縮から粉末になるまでにかかると
けています。もし濃縮肥料を処分するとなれば、これはほ
とんど純益とならう入ってくるというようになりますので、その点
考慮してまして日物には今の辺に工場を設けたいというか、どう
こと申しあげ、その依頼を受けましたので、増穂町の山林地帯
をいろいろ見てみるつもりでいます。かまう最終的に山林
を売却してくれるという段階まではいいです。しかし何ん
らかの結論は出るものと思っております。日物の親会社であ
ります日東化学工業がどうしても東京方面の工場を地方に
移さなければならぬので、小会社である日物を通じてこの方

面に進出したいという方針をもち、ある程度でございまして現
在敷地を物色中であるということです。分母で粉末にするた
めに五千円近くかかるもの、五千円で売っていくわけですが、
それはならないことをやろうに決めています。私もこの問題に
関与した限りは、あつはたと五千円でも費用の節約あるいは収
入の増というところに努力を重ねてみるつもりでございます。
以上甚だ簡単にありますが、処理場等について、今後申しあげ
に次第でございます。

一五番(大沼秀伍君)

二に、本理事者から、今後合併したいわけですが、い

ますが、広域行政の問題に關しまして、市長の言われる合併の基礎
をつくるということ、財政等万全を期さなければいけないというこ
とを、開いたわけですが、私は当議会にあり、広域行政特別委員
会というものが作られてあるわけ、私は市長のそういう主張という

ものをもつとこの時にはより所出してはいただけなかつたのかと思ふ
うものでもございませう。委員会を作しても無駄だといふことをい
ふなと思ひますが町長のあつしやるにはやはり地財法下ではあ
いんだといふことにも聞えろわけです。そういう点議会の独走の
に終らせるのではなくて理事者の本當の考え方をふつかり含
めてこつたんだといふことをもつと議会以反映させていたに
かなければいけないと思ひます。今初めてそういうことを聞か
れたので特別委員会を作る時に不況時期早尚ではないかと
理事者としての考え方はこうであるという披瀝がなかつたと思
私はに比ぶる町長の説明を聞くと非常に幻滅の悲哀を感じ
てゐるわけなんです。

それから教育委員会等につつてをいふますが議員と話し合
つて早朝に決めたといふことは無論ある程度の時期は必要で

あらうと思ふのでございませうが大体いつ頃話し合ひをする予
定であるのかも具体的には願ひしだいと思ひます。

又國保運営委員につつて薬剤師からの要望がなかつたとい
ふことですが、しかし福生町の薬剤師が取扱つてゐる保健業者

は極めて少ないようございませう。しかし二、三薬剤師は約
々名ほどこの時に在任してゐるわけで、当然条例かういふも

この内に保健薬剤師も含んだ構成といふことになるわけ
なつたといふとして、この条例が制定された時点に於ては薬剤

師は一名から二名位しかいなかったわけですが現時点に於
ては保健行政も極めて進み、又医薬行政の面でも薬剤師

の果す役割というものは非常に大づかなくある現在に於
ては薬剤師からの要望がなかつたといふことでもなく

瀬古町長の時にも私は一般委員として要望申しあげたに

とかあるんですが、この辺で十分考えていただくことを
要望申しあげさせていただきます。

し尿処理場の問題で市長の対外的な面もかなりあるが、非
常に奥歯に物かはさる長のような答弁しか聞けなかつたわけで
すが、当該の時点にありてはいろいろあると思ふが特に古い議員
さんからはよく聞かざるわけですか。福生町が財政法を受ける
以前の財政状態にありても可能であつたというふうに考えら
れるわけではございません。しかし現時点にありては地財法を受
けている現在にありては赤字処理に耐えることが問題から
考えますと、これでいいという事はあり得ないわけでありませう。
そういう点にありて年間四千万円という財源がもし半分に下つた
しても二千万円の基礎財源というものが補助金であるのは起債等を
基礎財源とするならば五千万円にも一億円にも使えるわけであ

ります。地財法下といつてもそういうことを積極的に解決し

ていかなければならない問題であり、又緑化園を運営する最大
の財源が福生町から出ているとするならば、当時の状況は十分わか
らなれますが、もつと積極的な面に正面から話し合ひたいと思
はれると思ひますから、もつと青梅と福生がダイヤアップするとかある
いは五日市方面とダイヤアップするということの方が政治的なかけひかと
福生町はこうしなければならぬ、いかにいふことをもつと真剣
に知らざる必要があると同時に、現在二石三百五十円から四百円近
くもかかるやうであり、町民はそういう内容には知らないわけで
五十円出しているからそれで処理されていると考へていらっしゃる
ところが三百円も四百円もかけてあるわけであつた、ということを町民が
知らなかつた、知らないと思ひます。そういう点にありてやはり福
生町はもつと真剣に取り組んで、その基礎財源を本町の町発展

のためにいかなければならぬと思ひます。青梅市はとうとう
考えをもつてあるかわかりませんが、さういふ点で私は福島町が
新しく施設を造ることも十分二、三年で取り返すことはできる
のではないかと、このお考えです。福島の比重が大きくなり、
さういふ点で町長はもう少し具体的にわれわれが十分つづいて
いけるような方法がありまして、たゞもう我々人に話してお聞かせ願ひ
たいと思ひます。

―町長(石川常太郎君) 目席からお話しを願ひます。

広域行政につづいてお話ししますが、地財法にから積極的に行つて
いるという点ではお話しませんが、ふだん財政充実に建設的なも
のの充実にしても、道徳的に此種な方針である、合意をしていくとい
うことは、基礎でお話しして、あくまでも積極的に話し合ひは
進めておくれ、又すべからざるという考えをもつてあります。

その点で間違ひのないようにお願いいたします。

又議会で組織されております特別委員会に参りまして、私から
話しかかるといふことですが、本委員会を作る時は私も知り
ませんでして、その時の発言からお話しせんので、その時
の状況は話しませんでして、

し尿処理場の件につづいても積極的に話し合ひしてあるつもりで
お話しします。さういふ事がありますので、例えば今年の八月、
に初めて浄化場の最終的の会計検査が終了したので、お話し
官庁のもので、会計検査が終了からはじめて使えろわけで
それでは試運転のようなものでお話しします。従いまして、こ
で福島町が造るんだ一階にやるんだという点に於いては、起債の
点に於いても甚だ無理であり、今年の八月に、一年そこ
そこでも、はかに造るということもあり、都といふし、

とは、これは社会問題ではないかと思ひます。これは業者に嚴重な警告をすゝるなり、何んらかの措置を願ひたいと思ひます。

それから森田助役から目物かあの池に工場を建ててゐるのではないかと
いうことを聞いたわけですが、それはあくまでもし尿処理場から出る
ものを対象にして建てようとしているものかとうか、あるいは目物と
してはそこそこ工場をもつて一大肥料工場を緑化園を対象
とし下りでもそういうものを建ててゐるかとうか、それから助役の視
察の結果、4回高く売れるようにしたというよりは良いことで
あり、そういうことはなるべく早く報告してほしいと思ふ。

助役(森田幸造君) これは日物そのものの計画書を見にわけではござい
ません。いろいろ交際の過程にありて課長あるいは責任者の拘束
から推察でござることをございまして、確定というところでござい
ません。もちろん日物が考えであります。肥料工場というの、現

福生町議会

庄のような姿ではありませんが、あつて、工業的に燐酸なり窒素
なりを添加したものです。すると見るといわゆる化学肥料という竟
味の有機肥料ではなからうかと存じます。原料ももちろんあつてこ
ら出るだけでは足りませんが、最近瑞穂や羽村が非常に処理に困
つてあります。家畜のし尿等がありますので、そういうものを繰せ
おしたものをどういう方法でそこまでやるかわかりませんが、と
にかく現在緑化園で生産されております肥料に対する過程が
う考えてみますと、濃縮段階までやるものに途中からある一定
量の窒素なり燐酸あるいは加里を加え、日流動的なものがある
いは粉末にしたものを生産するということを考えているのでは
なからうかと思ひます。そういう段階になりますと、そこでで
るものにつくまして、という方法で契約することか最も有利で
あるか、やりでやるか、什でやるか、いずれにしても町とし